

① 米 CPI

米労働省が12日発表した3月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比の上昇率が5.0%となり、9カ月連続で鈍化。

5.1%の市場予想を下回りました。

伸びはおよそ2年ぶりの低水準に。

3月の下落率が大きかったのはガソリンで17.4%下落。

エネルギーと食品を除くコア指数の上昇率は市場予想通りの5.6%で、2月の5.5%からやや上昇。

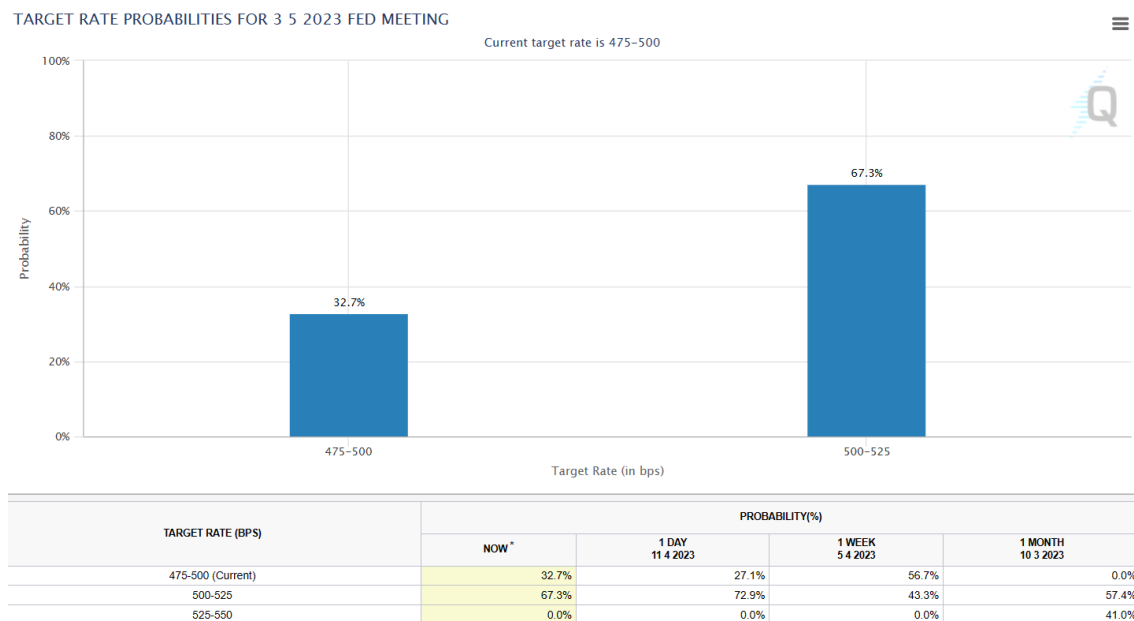
伸びは約2年ぶりに総合指数を上回っています。

CPIが市場予想を下回ったのを受け、外国為替市場では一時1ドル=132.74円まで円高ドル安が進みました。

まだ一定の範囲内の動きですね。

フェドウォッチによりますと、5月3日の利上げの可能性は5%程低下していますが、まだかなり高い確立となっています。

GWから秋に向けて1ドル115円前後に向かう予想は変わっておりません。





## ② 国内金価格

大阪取引所に上場する円建ての金先物価格が、4 営業日ぶりに最高値を更新しました。

12 日に一時 1 グラム 8669 円と前日比 116 円(1.4%)上昇し、6 日につけた過去最高値(同 8556 円)を上回っています。

純金上場信託(1540)も 8246 円(+108 円)と最高値を更新。

順調ですね。

### 【純金上場信託(1540:2年)】



### ③ 原油

あっという間に 64ドル台から 83ドル台まで上昇してきました。

CRB 指数も堅調。

底を打ったのかどうかはまだ分かりません。

